

施策番号	0801		
施策名	多様で活力ある中小・ベンチャー企業の育成と発展支援		
概要	中小企業の経営の安定、向上を図り、地域の経済力を高めるため、中小企業への金融支援を行うとともに、産業支援機関等による経営支援や技術・研究開発支援、人材育成など、企業ニーズに即した支援事業を推進する。		
担当局・部室	産業観光局・新産業振興室	共管局・部室	
上位政策	8 産業・商業		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市新価値創造ビジョン		

施策の評価

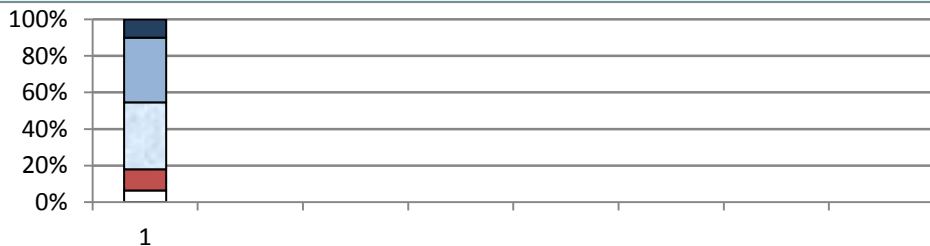
1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	企業課題対応済み件数(件)	a	a	186	347	200	173.5%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答						
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1	京都では、さまざまな企業や産業の活動が互いに刺激合っ て発展している。	49	174	180	57	31	491	b
		10.0%	35.4%	36.7%	11.6%	6.3%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						b



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている						24 年度	A
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	b			
(重み付けの理由) 当該施策においては、企業ニーズに即した支援が重要であるため、企業課題の解決状況に係る客観指標を重視する。								
(原因分析) ・客観指標評価は、積極的に企業訪問し、中小企業の課題に対応した結果、前年度と比べてほぼ倍増し、a評価となった。 ・市民の実感として、4割以上の方がさまざまな企業の発展を感じている背景には、伝統産業から先端産業に至る元気な中小、ベンチャー企業等の集積による産業連関都市の活力への評価があるものと思われる。 ・このため、総合評価はA評価となった。							23 年度	A

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	公契約基本条例に関する調査	—	6,314	—	行財政局
2	染色整理業者に対する上下水道料金の減免	29,523	32,655	良い	産業観光局
3	中小企業海外展開支援事業	—	51,072	—	産業観光局
4	地域経済活性化等支援事業	6,148	6,148	良い	産業観光局
5	中小企業金融支援事業	110,096,088	97,157,501	良い	産業観光局
6	中小企業連携支援事業	7,889	7,805	良い	産業観光局
7	京北商工会事業助成	5,100	5,100	良い	産業観光局
8	中小企業創業・経営支援事業	81,261	91,873	かなり良い	産業観光局
9	C S R (企業の社会的責任) 推進の支援	2,967	3,473	悪い	産業観光局
10	異業種交流等連携支援事業	9,683	4,213	良い	産業観光局
11	地域プラットフォーム事業	53,932	35,665	普通	産業観光局
12	未来創造型企業支援プロジェクト	43,909	35,288	かなり良い	産業観光局
13	中小企業パワーアッププロジェクト	37,290	50,406	かなり良い	産業観光局
14	クラウド・ビジネス創出事業	5,712	6,548	かなり良い	産業観光局
15	大学発技術シーズの活用支援事業	3,712	4,548	かなり良い	産業観光局
16	京都市創業支援工場 (V I F)	—	381	良い	産業観光局
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・ 未来の京都を担う有望な中小・ベンチャー企業等の発掘から育成までの一貫したハンズオンによる支援策等を展開する。
・ 新たなイノベーションを生み出す中小・ベンチャー企業の新事業創出を促進するため、ビジネスプランのブラッシュアップ（磨き上げ）や資金調達などを支援するとともに、魅力ある新商品・新サービス等の販路開拓の支援等、金融、経営、技術・研究開発、事業化などの総合的な支援策を構築する。

施策名	0801	多様で活力ある中小・ベンチャー企業の育成と発展支援						
指標名	企業課題対応済み件数（件）							
担当課	新産業振興室		連絡先	2 2 2 - 3 3 2 4				
1 指標の説明 経営者の課題解決を図る中小企業パワーアッププロジェクトにおいて、経営課題を発掘するパワーアップコーディネーター及び継続的なフォローを行うパワーアップアドバイザーが訪問し、企業の課題に対して対応した件数								
2 指標の意味 支援企業（訪問企業）の課題解決に向けた取組状況を示す指標			3 算出方法・出典等 出典：事業担当課調べ					
4 数値								
	前回数値 23年度	最新数値 24年度	推移 161件増	目標値				
				数値 200	根拠 実績を踏まえ、対応件数を維持することとして目標を設定	達成度 173.5%		
数値	186	347						
	全国順位	中長期目標				備考		
		数値	目標年次	達成度	根拠			
数値								
5 評価基準 最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			6 基準説明 当該指標については、経済状況によって課題発生数が増減するなど、外的要因によるところが比較的高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。			7 評価結果		
						23	24	25
						a	a	a